

《履修上の留意事項》第6～13回に限って、2グループに分けて授業を行う（詳しくは授業で説明する）。

《担当者名》 朝日まどか asahi-m@hoku-iryo-u.ac.jp、武田涼子、山口明彦、佐々木祐二、澤田篤史、長谷川純子、坂上哲可、鎌田樹寛、桜庭 聡、西出真也、山田桃子

**【概要】**

コミュニケーションについて学び、基本的なコミュニケーション力を培うことを目的とする。授業を通して自己を振り返り、医療人・社会人としての意識を高める。

**【学修目標】****【一般目標】**

1. 基本的なコミュニケーション力（適切な挨拶、言葉遣いなど）を身につけ、活用することができる。
2. 医療人・社会人として必要な基本的態度を学び、臨床実習に適用することができる。

**【行動目標】**

1. 観察から読み取ることができる非言語情報を列挙することができる。
2. 傾聴について理解し、話の聴き方を工夫することができる。
3. 『開かれた質問』『閉ざされた質問』について理解し、質問の仕方を工夫することができる。
4. 電話対応の仕方について学び、実習前連絡において応用することができる。
5. 『報告・連絡・相談』について、大学生活および実習の場で活用することができる。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 総論	オリエンテーション	朝日まどか
2・3	コミュニケーションとはなにか	コミュニケーションの必要性について学ぶ。	長谷川純子
4・5	自己分析	自己概念シート、自己肯定感診断テスト等を用いて、自分の性格や傾向について知る。	西出真也
6・7	『みる』	・観察から読み取れる非言語情報を学ぶ。 ・動作や表情が相手に与える印象について学ぶ。	鎌田樹寛 山田桃子
8・9	『きく』	・傾聴とはなにか理解する。 ・聴き手として大切なことを学ぶ。	武田涼子 山口明彦
10・11	『たずねる』	・質問の仕方、『開かれた質問』『閉ざされた質問』について学ぶ。	坂上哲可 澤田篤史
12・13	臨床で役立つ コミュニケーション・スキル	・コミュニケーションスキルとはなにか知る。 ・コミュニケーションを円滑にするために必要なことを学ぶ。	佐々木祐二 桜庭 聡
14・15	実習関連	・電話対応の基本と『報告・連絡・相談』の仕方について学ぶ。 ・社会人・医療人としての心構えについて学ぶ。	朝日まどか

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

毎回の課題、授業への主体的参加態度70%、レポート30%

**【教科書】**

山口美和 著 「PT・OT・STのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド」第3版 医学書院 2024年

**【備考】**

授業時、名札着用のこと。

**【学修の準備】**

この授業専用のファイルを用意すること（課題を綴じるために使用する）。  
次回の授業範囲の教科書を読んでおくこと（80分）。

授業後は、プリント、教科書等を活用して学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。